

シリーズ『リニア中央新幹線ってどうなの?』⑩

「原発を抜きにしたリニアは考えられない!!」

10月23日に開催された『10・23シンポジウムin静岡「NO! 浜岡・NO! リニア」』において、広瀬隆さんの「浜岡原発運転再開のためのリニアに絶対反対する!!」と題した特別講演の中で、広瀬さんは、リニア中央新幹線で最大の問題はリニアの電力消費の問題がある。

山梨県立大学の伊藤洋先生の試算でも544万キロワットの電力が必要になる。100万キロワットの原発でいえば、5基分というとても足りない電力が必要となり、必然的に新潟県柏崎刈羽原発、静岡県浜岡原発から電力を供給するということがわかると原発を抜きにしたリニア建設は考えられないことを明らかにしました。

「リニアを建設することは絶対に認められない!!」

さらに、広瀬さんは、JR東海の葛西会長は「原発継続しか、日本の活路はない」と新聞紙上で発言している。また、葛西会長は、政府の「東電に関する経営・財務調査委員会」の委員でもあり、リニアの背景には原発の問題があることをはっきり確信したと述べられ、さらに、葛西会長の「原子力を利用する以上リスクを承知の上で、それを克服・制御する国民的な覚悟が必要」との発言に対して、大事故を覚悟して、原発を運転しろと言う、こういう人間が会長の会社がリニアを建設することは絶対認められないと強調されました。

現在、日本は地震の活動期に入っていて、東海地震はいつ起こってもおかしくないと言われていています。リニア中央新幹線は、地震などでの大規模災害時に東海道新幹線のバイパス機能として考えられていますが、大地震によって原発がどうなるか、そして電力がどうなるかを東日本大震災（福島原発事故）で私たちは経験しました。仮に大地震にリニア中央新幹線の設備が耐えたとしても、通常の新幹線の何倍もの電力を必要とするリニア中央新幹線がバイパス機能を発揮することが出来ないのは明らかです。

リニア中央新幹線建設の問題点は何も電力（原発）だけではありません。建設費を初めとした経済面の問題、環境破壊、電磁波など人間に影響を及ぼす問題など多岐にわたります。私たちJR東海は、問題が多いリニア中央新幹線建設は見直すべきと考えます。

原発5基分の電力を必要とするリニア中央新幹線建設は絶対反対です!